

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんには。秋も深まり、肌寒い朝晩も増えています。ご自愛ください。さて、今年のかわら版は覚王山周辺の名刹をご紹介します。今月は**専修院**です。

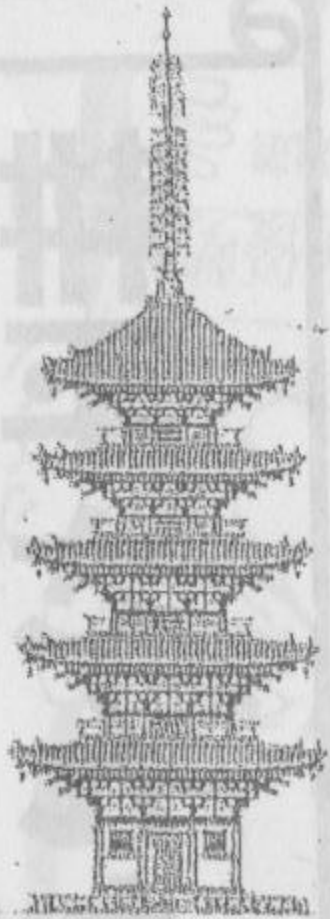
## ★法然上人の「専修念仏」

**日泰寺**西側には黒塀の古い屋敷が並んでいます。そのひとつが**専修院**。**浄土宗**のお寺です。

**浄土宗**は中国の**浄土信仰**に由来します。浄土とはさまざまな仏様のそれぞれがいる場所のこと。特定の仏様を信仰し、その仏様のいる浄土に生まれ変わろうというのが**浄土信仰**。その中で人々の心を最も掴んだのが**阿弥陀仏の極楽浄土信仰**です。

## 鎌倉時代の長承二年(一一三三年)

生まれの**法然上人**。中国の**浄土信仰**の大成者、**善導**の記した「**散善義**」という文章の中に「一心に**阿弥陀仏**の名を称えれば救われる。なぜならば、それが**阿弥陀仏**の願いだから」という記述



を発見。そこで法然は**専修念仏(せんじゆねんぶつ)**を説き、「**南無阿弥陀仏**」と称えれば誰もが極楽浄土へ往生できるといふ**浄土宗**が瞬く間に庶民に広がりました。

専修院の「**専修**」は、この「**専修念仏**」に由来しています。

## ★弘法大師作の厄除地藏

専修院のご本尊は**阿弥陀如来像**。尾張徳川家の息女(お姫様)の一人が嫁入りする際に**守り本尊**として賜ったものが、縁あって専修院のご本尊として祀られているそうです。



専修院と厄除地藏尊



門を入って正面に鎮座しているのは**厄除地藏尊**。蓮華の台座に立った大きなお地藏様。**弘法大師が四二歳の厄年のお払い**のため自ら彫った木像（京都の**永観堂禪林寺**に安置）を、石で彫り写したものだそうです。本堂の中には**弘法大師像**もあります。

ご本尊の横には**伊勢神宮のご神木「本楠」**で作られた**薬師如来像**。お寺に神社のご神木と聞けば**神仏習合**（神様は仏様の別の姿という考え方）が思い浮かびますが、神仏習合を普及させたのは弘法大師を開祖とする**真言宗**。専修院は浄土宗のお寺ですが、弘法大師とも縁の深いお寺のようです。

★**尾張が発祥の地、重軽地藏**

専修院には**重軽地藏**もあります。この地藏を持ち上げると、願いごとが叶うときは軽く、叶わない時は重くて持ち上げられないという不思議なお地藏さんです。

各地の地藏堂には、**重軽地藏、占い地藏、重軽さま、重軽石、占い石**と呼ばれるものがけっこうたくさんあります。日泰寺山門横の**千鉢地藏堂**にも**重軽地藏と重軽石**があります。

これらは**江戸時代後期に尾張地方**から全国に広まったと言われています。



★**阿弥陀如来の印相(手の形)**

ところで、**阿弥陀如来の印相(手の形)**は九つあります。人の生前の行いや信仰の篤さによって**九つの往生の仕方**があり、それを示したのが**九印相**。「品(考え方)」に上中下の三つ、「生(生き方)」にも上中下の三つ、三×三＝九の組み合わせです。

一番よく見られる**上品上生(じょうほんじょうしやう)**は阿弥陀如来の禪定の姿。最も仏の教えを守った生き方をした人を救う印相です。印相のほかに、**立像**が多いのも阿弥陀如来の特徴のひとつ。一刻も早く**極楽浄土**に連れて行って欲しいという衆生の願いの表れと言われています。

★**次回は尼僧修行の正法寺**

来月は日泰寺の東にある**曹洞宗正法寺**。日本で唯一の**尼僧学林**です。乞う、ご期待。

阿弥陀如来の印相